

宮崎県

1. 商品名等

| 商品名 | ゆずレーヌ | |
|---|---|--|
| 商品写真(イメージ等) | 商品説明(コンセプト等) | |
|  | <p>西都市銀鏡地区には、柚子収穫・生産加工・販売の6次産業化をしている「農業生産法人かぐらの里」があり、柚子の品質も良く、生産量も非常に多い。ゆずを使ってのお菓子ができないか、様々なお店に提案を行い、都農町にある菓子店「山中菓子舗」が承諾していただきました。</p> <p>厚手の皮の柚子を手作業で選別し、甘い触感で口溶けの良い甘納糖にして、マドレーヌの生地に入れて焼きました。ふっくらと柔らかい生地に仕上がりに、ほんのりと柚子の香りがするととても美味しい洋菓子ができました。また、一個130円で大ききの割には、手頃な値段設定を行い、大人から子供まで何個でも食べられるような大きさや価格設定を行いました。</p> | |

2. 学校紹介

| | | | |
|---|---|-----|--------------|
| 学校名 | 宮崎県立西都商業高等学校 | 電話 | 0983-43-0079 |
| 住所 | 宮崎県西都市大字調殿880番地 | FAX | 0983-43-1665 |
| 担当者 | 濱 砂 光 識 | | |
| URL | https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6023/htdocs/ | | |
| E-mail | saitosho02@miyazaki-c.ed.jp | | |
| <p>本校は、昭和38年4月に宮崎県立妻高等学校商業科より分離独立、宮崎県立西都商業高等学校として新設されました。平成元年4月に学科改編により情報処理科が充足し、商業科3学級、情報処理科2学級となり、幾度かの学科改編を経て、現在、商業科1学級、経営情報科2学級の2学科が設置されています。その間、多くの有能な人材を輩出し、県内はもとより全国各地で卒業生が活躍しております。近年は、高度の資格取得や各種検定の合格実績はもとより、人間性豊かな生徒の育成を目指し、地域社会はもとより、国家・国際社会の発展に寄与する有為な人材を育成する商業高校として高い評価を受けており、そのことは、進学先、就職先の充実ぶりに表れています。</p> <p>しかし、平成30年度4月に妻高校と再び統合し、(新)妻高校に「情報ビジネスフロンティア科」が新設され、令和2年2月29日に閉校式を行い57年の歴史に幕を閉じます。</p> | | | |

3. 実施科目等

| | | | |
|------|------------|-------|-----|
| 科目名 | 商品開発 | 単位数 | 2単位 |
| 対象生徒 | 商業科, 経営情報科 | 担当教員数 | 1名 |

4. 予算関係(費用)

事業所負担

5. 開発経緯等

都農町にある宮崎県立都農高等学校より、「都農町にある菓子店とコラボ商品ができないか」と提案があり、本校の商品開発の授業の生徒が「西都市には良質の柚子があるので、柚子を使ったお菓子が出来ないか」と都農町の山中菓子舗に提案した。その後、提案内容を都農高等学校と打ち合わせを行い、何度も山中菓子舗に足を運び、試食やパッケージ等のデザインの打ち合わせを行った。試食については、7種類(ゆずピューレ、ゆず甘納糖をマドレーヌの上や中に混ぜたもの)の試作品を都農高等学校の生徒も一緒に行い、全員一致で納得した一つを選びました。それは、ゆず甘納糖を生地の中に混ぜたものであり、ネーミングについては、都農高等学校が、ゆず+マドレーヌで、「ゆずレーヌ」に決定し、パッケージデザインも原案を作り、宮崎県立佐土原高等学校(工業系)に修正、作成してもらい完成した。西都市の柚子と、都農町の菓子店、都農高等学校と本校がコラボして作った自信作である。

6. 販売形態・期間

①
・
無

ショッピングセンターで、月1回の販売。
各種イベントでの販売。

7. 協力者等

①
・
無

山中菓子舗

8. 商標登録の有無

有
・
②

9. 今後の課題・展望等

今現在は、販売実習や地域でのイベントで販売を行っているが、継続的に販売できるように販路拡大する場所を探す必要がある。